

小見出し「現地メディア向けプレスツアーを行いました」

2018年9月12日から14日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ2社3名のジャーナリストとカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、ガボン国の政府関係者、知識層およびガボン国民への情報発信を強化するためのものです。この度のプレスツアーでは、有意義な二国間協力案件であるにもかかわらず、様々な要因によって広く認知されにくい協力案件を中心に訪問しました。

プレス一行は、首都リーブルビル市及びランバレネ市を訪れ、同国が力を入れている保健医療分野への開発協力を中心に、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）案件、JICAボランティア等の視察を行いました。

「ここでも日本人が貢献しています！」

リーブルビル市におけるプレスツアー

まず、経験豊富なシニアボランティアと青年海外協力隊員（いずれも助産師）のJICAボランティア2名が活動しているリーブル市内の保健省母子保健局を訪れました。来年1月頃から市内医療機関にて開始予定の「母親学級」の教材や内容作りを同局スタッフと共に作り上げている姿取材しました。



（JICA ボランティアへの取材）

ランバレネ市におけるプレスツアー

プレスツアー2日目も保健医療分野の協力サイトを視察しました。SATREPS「公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立プロジェクト」では、昨年11月にガボン側に引き渡されたBSL2/3ラボを使用した共同研究の進捗やプロジ

エクトの最終目標までの道のりについて、長崎大学の研究者及びガボン人研究者から話を聞くことができました。その後、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ランバレネ・アルベール・シュバイツァー病院救急車供与計画」を視察。約1年前に供与した救急車2台は、ランバレネ市及び周辺の村々の人々に活用されていることを確認できました。このアルベール・シュバイツァー病院には、今年から3名の青年海外協力隊員が活動しています。看護師、臨床検査技師、野菜栽培の分野で活動しており、各活動先では「職場の雰囲気が変わった。知らなかった知識や経験を共有してくれるので非常にありがたい。」という声が聞かれました。



(SATREPSの研究者への取材)



(アルベール・シュバイツァー病院で活動する青年海外協力隊員たちへの取材)

同日午後には、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件の引渡式及び署名式を取材。引渡式が開催された「ランバレネ地方母子保健局機能拡充計画」では、シスメックス社の協力により実現した機材供与により、同地で妊婦無料検診を受けられるようになりました。また、署名式が開催された「ランバレネHIV／エイズ通院治療センター拡張整備計画」では、既存施設のみでは患者を受入れきれない同センターの要請により別館を増築することになりました。



(引渡式 (左上) 及び署名式 (右上) の様子)

最終日には、漁業分野への支援を取材。まず、水産無償資金協力案件「ランバレネ零細漁民センター」を視察しました。同センター長は、「ただ施設を供与してくれただけでなく、専門家によるアドバイスや研修等の側面支援を継続的に実施してくれるおかげで、自分たちの力で運営することができていることを非常に嬉しく思う。」と取材に答えていました。次に視察した草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「ランバレネ養殖ステーション整備計画」では、養殖が専門のシニアボランティアが活動しています。網生簀養殖を試験的に実施したり、施設外の生簀の数を増やしたり、10ヶ月前にプレスツアーで訪れた時に比べて見違えるほど進化しており、前回参加したカメラマンも驚いていました。



(ランバレネ零細漁民センター長への取材)



(養殖分野のシニアボランティアへの取材)

参加プレスからは、「様々な知識や経験を持った日本人が首都からも離れたランバレネの地でガボン人と共に活動していることを初めて知った。日本での生活と違って不自由なこともあるにもかかわらず、皆とても前向きで感激している」という声がありました。プレスツアー後、当地主要紙・テレビでは次々と我が国開発協力の取り組みが報道され、我が国開発協力事業が大々的に取り上げられました。多くの庶民が目にするメディアで開発協力事業が取り上げられることで、ガボン国民の我が国開発協力事業への理解そして親日度がより一層深まったのではないかと思います。

【新聞記事及びテレビ報道】

1 新聞（ユニオン紙）掲載記事（仏語）

（1）Coopération nippo-gabonaise

（邦訳：「ガボンー日本協力 ランバレネにおける日本の協力サイト視察」）

（2）Coopération Nippo-gabonaise / Signature de contrat et remise de don au CTA et au SMI de Lambaréné

（邦訳：「ガボンー日本協力／ランバレネにおけるCTA署名式とSMI引渡式」）

（3）Coopération Japon-Gabon

（邦訳：「ガボンー日本協力／在ガボン日本大使がランバレネにおける日本のプロジェクトを視察」）

2 テレビ（国営放送ガボンブルミエ）報道

20時のニュース番組にて以下の4件が放送され、各3回再放送がありました。

（1）日本による漁業分野への支援（CCPALと養殖ステーション）

（2）日本による保健医療分野への支援

（3）CTA署名式及びSMI引渡式

（4）アルベール・シュバイツァー病院における野菜栽培隊員の活躍